

改組新第7回 日展授賞式



代表挨拶

日展理事長 奥田 小由女

皆様、本日は本当におめでとうございます。今日は改組新第七回日展の授賞式でございます。本来は特選もご一緒に大勢の方と授賞式を行うはずでしたが、コロナ禍の為に今回は密になることを避けまして、ちょっと寂しい感じですが、広々とした感じで授賞式を行わせていただきます。

本日は、このお忙しい中を宮田文化庁長官にお越しいただきました。コロナ禍の状態のなかで気持ちが折れそうになるなかを、本当に頑張っていたいただいて受賞なさる方に授与していただくことになり、ありがとうございます。こんなにうれしいことはございません。

今回は各団体が皆さん、コロナ禍の為に展覧会を中止するということが続きました。秋の芸術の展覧会は日展が主な展覧会でございます。本当にこうしたなかを皆さん、ふだんの力を最大限に出して、素晴らしい作品を日展の為に頑張ってください。そしてそのなかで最高の賞を皆さんが得られたことは、本当に限りなくありがたく、感謝の念でいっぱいでございます。

この疲弊した時代に日展の展覧会だけでも出来たらということで、あらゆるものを中止いたしました。密になることを避けまして、開会式もオープニングパーティも中止してまいりましたけれども、この栄えある授賞式だけは、なんとか執り行いたいということで、身内の方もいらっしゃらずに寂しいかもしれませんが、栄えある賞状だけは長官から手渡していただくことができることを本当にありがたいことだと思います。

皆さんは、日展を背負っていただくというよりも、日本の芸術文化を背負っていただく方が受賞されていると思いますので、これからも頑張っていたいだきたいと思います。

本当に本日はおめでとうございます。